

「F1」用レーシングカーにも使われる精密部品を加工

機械設備の充実と「人財」の育成で、多種少量の短納期精密加工を実現。その技術力で「F1」のレーシングカー用気化器などの重要部品を受注、製造。

「機械」と「人」が一体となり、複合タイプの精密加工オーダーにきめ細かく対応

株式会社千田精密工業では、精密加工に必要な各種金属工作機械はもとより検査・測定機器を装備するとともに、「人財」の教育訓練も計画的に実施することにより、「機械」と「人」が一体となった生産体制が確立されている。近年ではアルミ、ステンレス、チタンなど、加工難度の高い材料の微細加工にも実績を積み、切削や旋盤加工から、アルミ研磨、表面ブラスト処理、さらには装置部品の組み立てなどを含め、複合タイプの多種少量の受注に短納期で対応している。



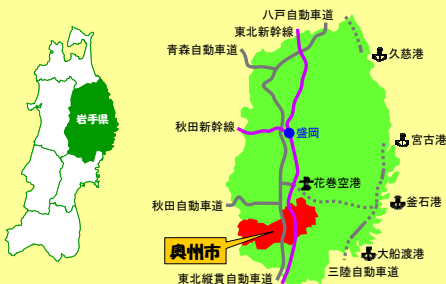
精密加工部品の例

「F1」レーシングカーのエンジン回りや燃料系に部品供給する高い三次元加工技術

同社は、半導体製造装置部品や自動車関連の特殊部品などを手掛けているが、なかでも、F1 用レース車両に搭載するエンジンや気化器の精密部品を100点以上も供給していることは特筆に値し、従業員100人足らずの企業の三次元加工技術が世界レベルにあることを証明している。また、2005 年末には溶接の継ぎ目を均質にする高度な技術で、英国企業が特許をもつ「摩擦攪拌接合」の使用権を中小企業では初めて取得し、この技法により高度な気密性を必要とするアルミ製部品等の加工に活かし、受注を拡大している。



大型 5 面加工機



株式会社千田精密工業

岩手県 奥州市前沢区白山字反畑 7-3

1983 年（昭和 58 年）設立

TEL 0197-56-2464

<http://www6.ocn.ne.jp/~chida>



代表取締役 千田 伏二夫